



やまがた被害者支援センター だより

YAMAGATA Victim Support Center

令和3年8月発行

第31号

～安心して暮らせる地域社会の実現に向けて～

山形県警察本部長 佐藤 正 顕



「山形県犯罪被害者等支援条例」が制定され今年で12年目を迎えます。この間、公益社団法人やまがた被害者支援センターをはじめ犯罪被害者支援に携わってこられた皆様の並々なご努力に敬意を表しますとともに、日頃から県警察に対して、ご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めてお礼を申し上げます。

さて、本県では、平成22年3月に「山形県犯罪被害者等支援条例」が施行され、三次にわたる「山形県犯罪被害者等支援推進計画」を策定し、県、市町村及び県民等が連携・協力して各種施策を総合的かつ計画的に推進するなど、犯罪被害者等の権利・利益の保護に努めてまいりました。

この間、医療費や一時保護施設の借り上げ経費等の公費負担に加え、公認心理師等によるカウンセリング等の支援制度の拡充が行われたほか、平成28年には「やまがた性暴力被害者サポートセンター事業」が開始されるなど犯罪被害者等のための施策は大きく進展しました。

しかしながら、犯罪被害者等が直面している困難な状況等は多岐にわたるため、個々の事情に一層配慮した支援が求められております。

犯罪被害者等が一日も早く被害から回復し、社会の中で再び平穏な生活を営むことができるようにするためには、犯罪被害者等一人一人に寄り添ったきめ細かな充実した支援が必要であり、県を始め市町村、民間支援団体、事業者、県民が相互に連携・協力し、取り組みの一層の強化を図っていかねばなりません。

そのような中、本県でも「やまがた被害者支援センター」の働きかけにより、一部の自治体で犯罪被害者等の支援に特化した条例制定に向けた動きも見られています。

市町村レベルでの条例が制定されれば、法的根拠が明確になるとともに施策の持続性・継続性が確保され、相談窓口の一元化による各種手続の負担軽減や見舞金等の支給による経済的支援、公営住宅への優先入居等による居住の安定等が図られ、より充実した支援が期待されます。

その意味においても、「やまがた被害者支援センター」が果たす役割は極めて大きく、多くの県民が期待しているところです。

警察においても、当該条例の制定に係る検討が行われる際には、犯罪被害者等支援のための実効的な事項が盛り込まれるよう、犯罪被害者等が必要とする支援等の情報を提供するなど、その検討に資する協力を行ってまいります。

結びに、貴センターの益々のご発展と会員皆様のご活躍並びにご健勝を祈念いたします。

電話相談 (秘密は厳守いたしますので、一人で悩まずお電話ください。)

〈やまがた被害者支援センター〉

相談電話番号 **023-642-7830**

月曜日から金曜日(10:00～16:00)

庄内出張相談所

相談電話番号 **0234-43-0783**

毎週水曜日(10:00～16:00)

やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポ やまがた」

相談電話番号 **023-665-0500**

月曜日から金曜日(10:00～21:00)

〈性暴力被害相談〉全国共通短縮ダイヤル

短縮ダイヤル **#8891**

■相談は無料です。(通話料はかかります) ※12/29～1/3までと祝日はお休みです (性暴力被害の相談は女性相談員がお受けします。)

令和3年度 定時総会の開催

令和3年度の(公社)やまがた被害者支援センターの「定時総会」は、5月28日(金)、山形市内のホテルを会場に、新型コロナウイルス感染拡大という情勢を踏まえ、規模を縮小して理事および正会員のみの参加により開催しました。

総会に先立ち、当支援センターで永年にわたり活動されている8名の支援活動員に、黒澤洋介理事長から「賞状」が授与され、その功労が顕彰されました。

総会は、冒頭、黒澤理事長から、「昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大で行動自粛が求められたことなどの影響を受けて、当センターへの相談件数は減少しましたが、コロナ禍の巣籠生活でDV等に関する相談が増加するなど予断を許さない情勢も生じており、関係機関・団体との連携が今まで以上に不可欠となっている。山形県は、全国でも早い段階で県の犯罪被害者等支援条例を制定し11年が経過したが、市町村単位での条例制定は皆無である。ちなみに、隣の秋田県は全市町村で制定されているがなぜ条例が必要か、それは我々の身近にある市町村にこそ、被害者等の支援に必要な福祉、医療、経済援助などの行政サービスが保有されているのであり、そうした社会資源が条例のもとに適切に提供されていくことが望まれるからである。今後、全ての市町村で制定化を進める必要がある。その意味では、5月に開催された南陽市と高畠町の関係者が出席した条例制定を目指した勉強会は大きく報道され、今後、条例制定への機運が高まっていくことが期待される。」と挨拶がありました。



〈表彰〉



〈理事長あいさつ〉

次に、令和2年度の事業報告と収支報告、令和3年度収支予算の第1次補正(案)の各議案が原案どおり可決・承認されました。

続いて、令和3年度の活動重点として、

- (1)市町村における「被害者支援に特化した条例」の制定促進
- (2)SNS等利用に起因する子どもの性被害防止のための広報啓発活動

について当センターが一丸となって推進することを確認しました。

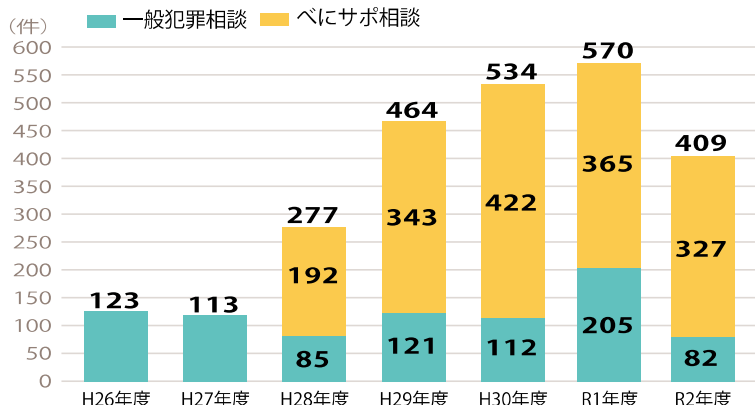
また、総会では役員改選が行われ、副理事長の清野功氏、専務理事の吉田敏雄氏、監事の都筑正之氏が退任されたことに伴い、後任として、副理事長に榎野和男氏、専務理事に柴崎和也氏、監事に鈴木僚氏が選任されることが承認されました。退任される清野氏と都筑氏に理事長から感謝状が贈呈されました。(再任されました黒澤理事長以下新役員構成は下表参照)

【新役員等の構成】

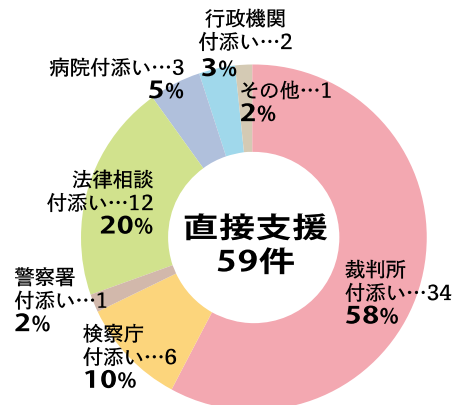
理事長	黒澤 洋介	前山形新聞社会長	顧問	吉村美栄子	山形県知事
副理事長	宮崎 信三	株式会社山形トヨタ商事専務取締役	顧問	坂本貴美雄	山形県議会議長 (山形県被害者支援議員連盟会長)
副理事長	林 淑子	林内科・レディースクリニック院長 産婦人科医	顧問	佐藤 孝弘	山形県市長会長
副理事長	榎野 和男	前山形県警友会連合会会長	顧問	原田 俊二	山形県町村会会長
専務理事	柴崎 和也	(公社)やまがた被害者支援センター	顧問	佐藤 正顕	山形県警察本部長
理事	安孫子英彦	安孫子総合法律事務所 弁護士	顧問	末廣 晃二	前福島学院大学教授
理事	伊藤 洋子	山形県公認心理師・臨床心理士協会会長	顧問	金森 義弘	山形県体育協会名誉会長
理事	遠藤 凉一	遠藤法律事務所 弁護士	顧問	三條 典男	山形県医師会副会長 三條医院院長
理事	太田 宏明	山形県商工会連合会専務理事	顧問	遠藤 凉一	山形県被害者支援連絡協議会会長
理事	齋藤 博	(株)三幸ソーイング代表取締役会長	顧問	中目 千之	山形県医師会会長
理事	鈴木 光弘	恩賜財団山形県済生会常務理事	顧問	大谷 浩一	山形県精神保健福祉協会会長
理事	鈴木 隆一	山形県経済同友会代表幹事 (株)でん六代表取締役社長	顧問	小野木 覺	山形県商工会連合会会長
理事	丹 哲人	山形県経営者協会専務理事	顧問	田 中 暁	山形県弁護士会会長
理事	吉田 敏雄	山形県警友会連合会会長	顧問	前田 邦彦	山形県立保健医療大学学長
理事	渡邊 理香	交通事故遺族の会「こまくさの集い」代表	顧問	長谷川吉茂	山形県銀行協会会長
監事	大石 徹	山形県銀行協会常務理事	顧問	矢野 秀弥	山形県商工会議所連合会会長
監事	鈴木 僚	鈴木僚税理士事務所 税理士	顧問	清野 功	元全国被害者支援ネットワーク理事 前やまがた被害者支援センター副理事長
			参 与	阿部 喜彦	山形県警察本部警務部理事官

令和2年度における相談受理および直接支援の活動状況

過去7年間の相談受理件数の推移



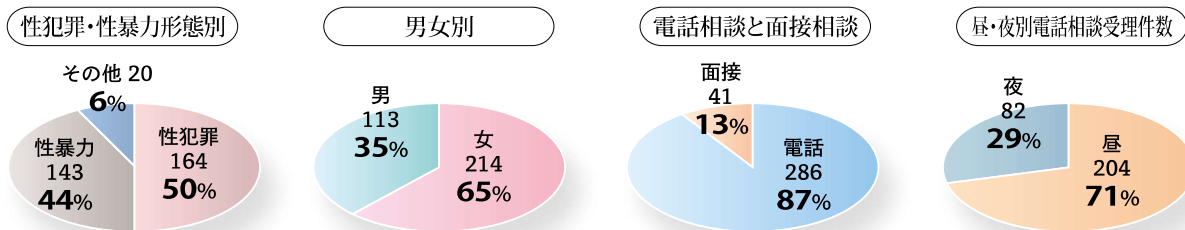
令和2年度 直接支援状況



◆令和2年度はべにサポ相談で性犯罪に関するものが164件(前年比58件)と過去最多になっており、また、コロナ禍の中、DV事案に関する相談が増えています。
◆直接支援活動の内訳として、裁判所付添い、法律相談付添いが全体の約8割を占めております。

令和2年度 やまがた性暴力被害者サポートセンターの相談受理状況

※令和2年4月1日～令和3年3月31日に受理した「327件」の相談内容



令和2年度決算報告

【令和2年度活動決算】

収入の部

科目	決算額(円)	摘要
会費	2,842,000	正会員、賛助会員会費
寄付金	7,175,016	各種寄付、協力自販機等
委託料	4,782,200	県べにサポ委託料
補助金	4,613,837	県補助金、市町村負担金等
助成金	2,160,000	日本財団(預保納付金)助成
雑収入	27	受取利息
合計	21,573,080	

寄付金内訳

科目	決算額(円)
警察職員寄付金	2,213,052
ワンクリック募金	399,000
協力自販機寄付金	3,164,801
赤い羽根共同募金	300,000
一般寄付、募金箱バザー収益	1,098,163
合計	7,175,016

支出の部

科目	決算額(円)
相談活動事業費	2,892,683
直接支援事業費	751,625
広報啓発活動事業費	2,613,674
県・委託事業費	4,922,392
相談員養成・育成事業費	548,676
調査研究等事業費	600,258
日本財団助成事業費	1,902,424
管理費・事務費	6,722,451
支出合計	20,954,183

やまがた被害者支援センター活動報告

被害者支援に特化した市町村条例の制定に向けた勉強会の開催

市町村単位では県内初となる「犯罪被害者等支援条例」制定に向けた勉強会を、5月14日、南陽警察署で開催しました。当センターの齋藤博理事の働きかけにより、南陽市役所と高島町役場の担当職員、南陽警察署員、および当センター職員が出席しました。

勉強会では、当センターから、「県の犯罪被害者等支援条例が制定されて10年以上が経過しているが、犯罪被害者等の方々々が県内どこでも等しく途切れることのない、より充実した支援が受けられるためには、住民に最も身近な存在で多くのサービスを直接提供している県内すべての市町村で被害者等支援に特化した条例が早期に制定されることが重要であること」を説明しました。

その後、出席者による活発な意見交換が行われ条例制定に向けた理解を深めることができました。

南陽市および高島町は、早期の条例制定に向けて取り組みを進めております。



勉強会の様子
～山形新聞令和3年5月15日掲載記事より～

各地区被害者支援ネットワーク総会での市町村条例制定に関する講話の実施

鶴岡地区被害者支援ネットワーク総会で7月16日、村山・東根地区被害者支援ネットワーク総会で7月29日、それぞれ、当センター職員が、県内すべての市町村に犯罪被害者等支援条例を制定する必要性を呼び掛けております。



鶴岡地区被害者支援ネットワーク総会



村山・東根地区被害者支援ネットワーク総会

市町村の職員との情報共有と緊密な連携により対応した好事例紹介

当センターで、支援継続していた相談者から「役所へ相談に行ったが、自分の状況をうまく説明できない」との相談を受理したので、相談者から役所への情報提供について同意を得て当センター支援員が役所担当者に連絡しました。

そのうえで、相談者の置かれた状況と要望の説明および相談者の件に関するセンター支援員の介在を申し出たところ、役所担当者の快諾を得られて情報の共有と連携の緊密化により役所におけるスムーズな事務手続きと相談者の不安感払拭につながりました。

ご案内のとおり、相談者は被害を受けたことで、自身の生活状況が一変することが多く、様々な不安材料を抱えて混乱した状態にあることから、うまく説明ができなかったり説明を理解できなかったりします。

今回のケースでは、相談者が複数の役所手続きを必要としており説明に苦慮しておりましたが、当センターと情報の緊密化を受けた役所の担当者が総合窓口となり、手続きを必要とする複数の関係課に横断的な対応をしてくれたことにより、相談者の負担軽減につながり感謝された好事例であります。

支援活動員だより

やまがた被害者支援センターで電話や面接での相談および直接的支援に当たっている支援活動員の方々の思いを紹介します。



私が被害者支援の活動を始めてから数年が経ちます。これまでの被害者支援活動を通して感じるの、誰にも相談できずにいる被害者がどれほどつらい思いを抱え、過酷な状況を強いられているかということです。特に性被害に遭われた方は、突然自分の身に起こった出来事について「誰にも相談できない」「どうすればいいのかわからない」とその胸中を打ち明けられます。自分の行動を責める方もおりました。相談を受ける度、被害に遭われた方に非がないことを伝え、その声に耳を傾け、仲間とともにその都度どのような支援ができるのかと常に模索し続けた日々であったように思います。また、これまでの活動を通して「被害者支援にはひとつも同じ支援はない」と感じています。たとえ支援内容は同じであったとしても、被害に遭われた方が抱える思いやその方を取り巻く環境はそれぞれ異なります。そのため、その方が必要とされることをしっかり把握し、個々に応じた支援が必要であると実感しています。

これまで携わった支援では、被害に遭われた方の思いに添った支援となり、将来にむけての一步を踏み出した方もいる一方、厳しい現実を突きつけられた支援となったこともありました。今でも忘れられないのは性被害を受けた方の支援です。その方から初めて相談電話を頂いた時は「ようやく自分の気持ちを聞いてもらえる場所につながった」と話された後、受話器の向こうで涙を流しており嗚咽で言葉にならない様子でした。翌日に再び電話を頂いて被害に遭われた方の身に何が起きたのかを伺い、その方が置かれている状況や抱えているつらい思いを初めて知ることができました。そして、初めて電話を頂いた時の一言が、自分の身に突然起こった出来事と一人で戦ってこられて、心身ともに疲れ切っている被害者が発した心からの安堵の言葉だったのだとわかりました。

その後、電話や面接相談、弁護士相談付添い等の支援を継続してきましたが、この事件では様々な事情から被害に遭われた方にとって厳しい結果となってしまいました。

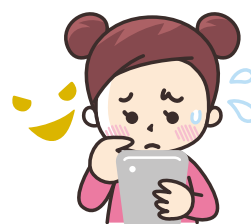
その方からは「支援員さんが一緒に戦ってくれたから、ここまで頑張ることができました」との言葉を頂きましたが、私は被害に遭われた方の思いが断たれてしまった現実と直面し、犯罪被害者が負わされている現実はいまだ厳しいものがあると痛感せざるを得ませんでした。

私は被害者支援を通して感じたことをしっかり受け止め、これからも、被害に遭われた方の声に耳を傾け、心に寄り添い、被害者支援が途切れることのないよう、日々研鑽を積み重ねたいと思います。

SNS等利用による子どもの性被害防止のための広報啓発活動

SNS等を利用に起因した子どもの性犯罪や性暴力が社会的にも大きな問題となっております。子どもたちは、誰にも相談できず、一人で抱え込んでいたり、あるいは何が性被害なのかかわからないままにすることが懸念されます。こうした実態を踏まえて、今年7月、県内全小学校(小学6年生対象)および保護者向けにリーフレット1万部を作成のうえ各教育委員会と連携して配付しました。

夏休み前に、教育関係者や保護者が子どもと一緒に語り合い、性被害防止の啓発に活用していただくとともに、相談できる場所があることの周知を図った活動であります。



センターの活動を支えてくださる皆様に感謝申し上げます

寄付金および賛助会費として、財政支援をいただいた方を、謹んでご報告申し上げます。

(令和2年4月1日から令和3年7月31日)

ご協力いただいた賛助会費・寄付金は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



<賛助会員 個人> (敬称略)

會田庸二郎	板垣 恵子	大森 典夫	菊地 武夫	笹原 清彦	鈴木 文雄	戸石 健二	林 由美子	森谷 裕一
青柳 初夫	板垣 隆	岡崎真美代	菊池 紀久	佐藤 彰	鈴木 政明	宮樫 芙美	原田 暁子	諸橋 哲郎
青柳 りえ	板垣 幸江	小川 聡美	岸井 宏樹	佐藤 攻	鈴木 力夫	徳宮 龍男	原田 敦子	八重樫勝昭
青山 明弘	市村 清勝	小川 るみ	木村 豊生	佐藤 金悦	鈴木 隆一	戸田 健志	原田イクミ	矢口 康子
青山 永策	伊藤 俊夫	奥山歌代子	草刈 隆志	佐藤さきゑ	清野ひさ子	戸田 正宏	原田 伸也	矢作 勝美
青山 均	伊藤 知雄	奥山 敬子	楠 二男	佐藤 紀嗣	清野 伸昭	長岡 敏明	樋口 芳次	山川 孝
秋葉 典子	伊藤 宏	小座間一夫	工藤 英雄	佐藤 誠	清野彦四郎	長澤 忠	日野 晃彰	山口登喜雄
安達喜美子	井上 敬三	押井 邦昭	桑山 幸子	佐藤美智雄	瀬野 清	中島 勲司	深瀬 邦彦	山田 登
阿彦 忠之	井上 富雄	小田 悟志	小泉 信三	佐藤 光子	相馬 諭	中島 信勝	藤田 繁明	横尾 昭男
阿部 和行	今川 昌幸	尾田 滋	小関 和栄	佐藤 泰夫	平 ふみゑ	長瀬 純男	舟山 文雄	横尾智三郎
阿部 憲史	漆山 茂	小野 弘信	小林 邦憲	志金 敏夫	高木 信博	長瀬 恒夫	堀田 いく	横尾 量助
阿部ひとみ	遠藤 和彦	小野寺 惇	小林 洋一	信夫 鈴子	高橋 京子	中村理一郎	本田香奈子	横山 礼子
阿部 正希	遠藤 竹雄	片桐 政隆	小山 勝美	柴田美恵子	高橋誠一郎	成沢 一彦	本間 等	吉田美智子
阿部 昌子	遠藤 利馬	加藤 和之	小山 政弘	島貴 利春	高橋 尚子	新野ふみ子	本間 文夫	和田 英光
阿部 雄幸	遠藤 光正	加藤 秀一	近藤 寛治	庄司 弘之	高橋 洋明	二戸 昭夫	前森美代子	渡部 順子
阿部 由紀	遠藤 吉寛	嘉藤 泰之	近藤 好司	白旗 伸一	武田 敦史	仁藤ミエ子	松尾あさ子	渡辺 徳夫
五十嵐敏子	及川 善大	加藤 玲子	齋藤 和也	新宮奈奈子	武田 伸一	信田 信一	松尾 正城	渡部 幸雄
五十嵐幸弘	大川 隆雄	金内 善治	齋藤順二郎	新林 正行	武田 朋泰	羽角 巖	三浦 繁則	
伊佐 良夫	大久保義雄	金澤 和子	齋藤善太郎	菅井 精	田宮由美子	長谷川啓子	三塚 勝男	
石倉 隆	太田 純子	金澤 浩二	齋藤 春子	須貝 光雄	田村 留勝	長谷川 法	水戸 豊	
石山 行雄	大竹 孝幸	金杉 浩	齋藤 浩暉	菅野 健吉	長南 明重	花見 彰	峯田 典明	
伊豆倉公子	大橋 長秋	金森 義弘	三枝 和也	菅原 和夫	土屋 講	早坂 松一	村岡 朋美	
井田 守男	大御 均	河内 昭佐	酒井 博	菅原 博子	土屋 哲郎	早坂 晃一	村越 友子	
板垣 長榮	大宮 光也	菅野 雅博	佐川 太吉	鈴木 信幸	寺崎 智代	早坂 寛子	森岡美貴子	

<寄付 個人> (敬称略)

伊佐 良夫	遠藤 利馬	小田嶋康司	黒澤 洋介	穴戸 義明	高橋 隆文	萩原さち子	堀川 隆志	村山恵美子
市川 信子	遠藤 凉一	金杉 浩	齋藤由美子	新藤 重徳	戸田 正宏	原田 敦子	眞見 静子	吉田 敏雄
植村 久美	太田 富雄	草刈 隆志	佐藤 健二	高橋 洋明	新野 晃敏	藤田 正	三塚 勝男	渡邊 理香

<寄付 法人・団体> (敬称略)

尾花沢地区安全運転管理者協議会	国際ソロプチミスト東根	天童地区保護司会	山形地区安全運転管理者協議会
株式会社とみひろ	税理士法人黒沼共同会計事務所	長井地区被害者支援連絡会	八幡駐在所連絡会
国際ソロプチミスト天童	天童市更生保護女性会	東根市更生保護女性会	

<寄付 設置募金箱> (市町村民からのご寄附)

医療法人社団山形愛心会庄内余目病院	庄内町役場立川支所	マツクドライブインスクール村山校	最上総合支庁総務課
大蔵村役場住民税務課	新庄市役所環境課	マックスバリュ青田	最上町役場町民税務課
金山町役場総務課	戸沢村役場住民税務課	真室川町役場総務課	
鮭川村役場	東根市役所	道の駅むらやま	
庄内町役場	舟形町役場総務課	村山市役所	

<正会員 法人・団体> (敬称略)

山形県商工会連合会	株式会社エフエム山形	一般社団法人山形県銀行協会
山形県商工会議所連合会	株式会社トヨタレンタリース山形	山形県警友会連合会
一般社団法人山形県経営者協会	山形経済同友会	

＜賛助会員 法人・団体＞ (敬称略・五十音順)

【山形市】

A L S O K 山 形 (株)
 株 市 村 工 務 店
 株 井 出 コ ン タ ク ト レ ン ズ
 株 エ ム ・ エ ス ・ アイ
 遠 藤 商 事 株 式 有 限 公 司
 株 ク ラ フ ト
 (税)黒沼共同会計事務所
 (医)公德会若宮病院
 小 白 川 建 設 (株)
 小 松 建 設 (株)
 株 ジョインセレモニーパレスグランドール
 住友生命保険相互会社 山形支社
 株 セ ロ ン 東 北
 全国共済農業協同組合連合会 山形県本部
 全国農業協同組合連合会 山形県本部
 損害保険ジャパン(株)
 株 たいよう共済 山形支店
 (弁)武田法律事務所
 株 田 村 測 量 設 計 事 務 所
 株 塚 田 会 計 事 務 所
 株 で ん 六
 東京海上日動火災保険(株)
 東北電力株式会社 山形支店
 と き わ 商 事 有 限 公 司
 株 と み ひ ろ
 トヨタカローラ山形(株)
 株 ナ イ ガ イ
 (一社)日本自動車販売協会連合会 山形支部
 日 本 地 下 水 開 発 (株)
 (医)二本松会山形さくら町病院
 株 ハイテックシステム
 東日本電信電話株式会社山形支店
 東日本旅客鉄道(株)山形支店
 株 ベ ガ ス ベ ガ ス
 株 本 間 利 雄 設 計 事 務 所
 株 メ コ ム
 山形いすゞ自動車(株)
 山形ガス(株)
 山形警備保障(株)
 (一社)山形県安全運転管理者協会
 (一社)山形県医師会
 (一財)山形県警察職員互助会

山形県軽自動車協会
 (一社)山形県自家用自動車協会
 (一社)山形県自動車整備振興会
 株 山 形 県 自 動 車 販 売 店 リ サ イ ク ル セ ン タ ー
 山 形 建 設 (株)
 山形県農業協同組合中央会
 山形県ハイヤー協会
 山形県ハイヤー・タクシー協会
 山形県弁護士会
 山形県民共済生活協同組合
 山形県遊技業協同組合
 山形県立保健医療大学
 山形酸素(株)
 山形事務器販売(株)
 株 山 形 新 聞 社
 山形信用金庫
 山形大学医師会
 山形ダイハツ販売(株)
 藤 庄 印 刷 (株)
 株 山 形 テ レ ビ
 山形農業協同組合
 山形パナソニック(株)
 株 山 形 ビ ル サ ー ビ ス
 山形放送(株)
 ヤマケンビルテックサービス(株)
 株 ヤ マ ザ ワ
 株 ヤ マ コ ー
 ゆうき整形外科
【中山町】
 中山ロータリークラブ
【上市市】
 羽陽建設(株)
 (一社)上市市医師会
 (宗) 称 念 寺
 (医)二本松会上山病院
【天童市】
 エムテックスマツムラ(株)
 カクシメ運送(株)
 株 滝 の 湯 ホ テ ル
 (一社)天童市東村山郡医師会
 (医)丹心会吉岡病院
 (医)斗南会秋野病院
 日 新 製 薬 (株)

丸 和 熱 処 理 (株)
 山 形 ゾ ン タ ク ラ ブ
 (一財)山形県交通安全協会
【寒河江市】
 大 富 建 設 (株)
 國 井 建 設 (株)
 株 寒 河 江 測 量 設 計 事 務 所
 角 田 商 事 (株)
 日 東 ベ ス ト (株)
【東根市】
 株 山 本 製 作 所
【河北町】
 上 村 石 油 (株)
 勝 川 建 設 (株)
 (医)つかさ会齊藤医院
 株 ト ウ シ ョ ー
 升 川 建 設 (株)
【大江町】
 (有)藤島屋商店
【西川町】
 (有) 玉 貴
【村山市】
 小野内科胃腸科クリニック
 河 西 建 設 (株)
 (一社)北村山地区医師会
 株 ヤ マ ガ タ 共 同
【尾花沢市】
 (有)徳宮商事
【新庄市】
 さいほく鉄工(株)
 (医)三條医院
 (一社)新庄市最上郡医師会
 (宗) 善 龍 寺
 新庄ロータリークラブ
 (医)若狭眼科
【最上町】
 (医)永井医院
【酒田市】
 (医)池田内科医院
 (医)太田医院いちごレディースクリニック
 (有) 齋 藤 組
 酒 田 塗 装 (株)
 株 鳥 海 学 園

長島整形外科クリニック
 株 平 尾 工 務 店
 山 田 塗 装 (株)
【庄内町】
 関東自動車興業(株)
 株 大 商 金 山 牧 場
【鶴岡市】
 (医)いとうクリニック
 株 オ ラ ン ダ
 株 佐 藤 組
 (医)すこやかレディースクリニック
 株 長 南 牛 肉 店
 株 マ ル ゴ
 (医)諸橋医院
【長井市】
 (医)杏山会 吉川記念病院
 (医)仁陽会仁陽堂外田医院
 那 須 建 設 (株)
 山形中央信用組合
【南陽市】
 置賜ツバメ石油(株)
 (医)公德会佐藤病院
 株 三 幸 ソ ー イ ン グ
 株 三 和
 住友生命保険(相)南陽支部
 (一社)南陽市東置賜郡医師会
【高島町】
 株 高 島 ワ イ ナ リ ー
 羽 山 総 合 建 設 (株)
【米沢市】
 株 エ ー ビ ー エ ム
 金子建設工業(株)
 株 三 友 医 療
 東北警備保障(株)
 (宗) 普 門 院
 米 沢 合 同 運 送 (株)
 (一社)米沢市医師会
 株 米 住 建 設
【川西町】
 山形おきたま農業協同組合
【小国町】
 大 和 建 設 運 輸 (株)

●山形県警察の各所属 職員一同様

総務企画課	生活安全企画課	鑑識課	警備第二課	尾花沢警察署
広報相談課	地域課	科学捜査研究所	機動隊	新庄警察署
留置管理課	通信指令課	機動捜査隊	警察学校	庄内警察署
会計課	人身安全少年課	交通企画課	山形県警察学校初任科生	酒田警察署
施設装備課	生活環境課	交通指導課	山形県情報通信部	鶴岡警察署
警務課	サイバー犯罪対策課	交通規制課	山形警察署	長井警察署
人材育成課	刑事企画課	運転免許課	上山警察署	小国警察署
監察課	捜査第一課	交通機動隊	天童警察署	南陽警察署
厚生課	捜査第二課	高速道路交通警察隊	寒河江警察署	米沢警察署
情報管理課	組織犯罪対策課	警備第一課	村山警察署	

トピックスとして3事業所を紹介させていただきます

「一般財団法人きらやか銀行教育福祉振興基金」様

県民の教育・福祉に寄与する活動を行っている、きらやか銀行教育福祉振興基金様から、研修効果を上げるため研修用機材としてワイヤレスアンプとマイク一式が7月19日、鈴木専務から当センターの黒澤理事長に贈呈されました。当センターにおけるボランティア支援員の研修等では、新型コロナウイルス対策としてアクリル板を設置しているため講義内容が聞き取りにくい支障がありましたが、早速、8月5日の全体研修会で利活用が図られ、受講者からも好評でありました。ありがとうございました。



「酒田市八幡駐在所連絡会」様

酒田市の八幡駐在所連絡会の皆様から「悩みを抱えている方の支援に役立てて欲しい」として、当センターに善意の寄付が寄せられ、6月16日、酒田警察署で贈呈式が行われました。交番駐在所連絡会からの寄付は県内でこれまで1件しかなく、今回は貴重なものとなりました。皆様の込められた思いをしっかりと受けとめ、有効に活用してまいります。ありがとうございました。



「升川建設株式会社」様

升川建設株式会社様から、7月15日、寄付金付き自動販売機設置のご協力がありました。

3台目となる設置で深く感謝申し上げます。自動販売機から缶ジュースなどを一本購入するごとに、売上げの一部が当センターに寄付されるもので、寄付金は犯罪被害者の診察と弁護士への相談の費用およびカウンセリング費用などに有効活用させていただいております。

是非、「ジュース1本の社会貢献」にご理解をよろしくお願いいたします。



賛助会員への加入や各種ご支援・ご協力をお願いします

賛助会員会費

◎個人会員……1口 **2,000円** (口数に制限はありませぬ) ◎法人・団体会員……1口 **10,000円** (口数に制限はありませぬ)

ご入会の方法 / 郵便振り込みか銀行口座へのご入金をご利用ください。

詳しくは当センター事務局(電話 **023-642-3571**)にお問い合わせください。

◆ 編集後記 ◆

令和3年度定時総会で、専務理事を仰せつかりました柴崎和也です。吉田前専務には、未曾有の新型コロナウイルス対策を踏まえてのセンター運営をはじめ永年にわたり多大なご尽力をいただき敬意と感謝を申し上げます。引き続き、相談役として活動をお願いしております。

今回のたよりは、今年度の活動重点の1つである、「県内すべての市町村に犯罪被害者等支援条例の制定」をコンセプトにして企画しました。地域全体で機運を盛り上げ制度化に向けて加速していきましょう。

今年の「県民のつどい」は、新型コロナウイルス感染状況を見据えてですが、11月25日(木曜日)を予定しております。

専務理事 柴崎 和也

やまがた被害者支援センター だより 第31号

令和3年8月発行

編集・発行

山形県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 やまがた被害者支援センター

〒990-0031

山形市十日町一丁目6-6 山形県保健福祉センター内

TEL 023-642-3571 FAX 023-676-5630

(土・日・祝日・年末年始は休みとなります。)

ホームページアドレス <https://www.yvsc.jp>